○福島大学人間発達文化学類規程（抜粋）

別表 2(第 10 条第 1 項)

外国人留学生履修基準表(接続・教養・問題探究・学類基礎・学類専門・卒業研究・自由選択領域)

	領域区分	科目区分	開設科目等	セメスター	単位	卒業要件単位数	
						必修	選択必修
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	2	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	2	2	
			健康運動科学実習	1	1	1	
		外国語コミュニケーション科目	英語ＡⅠ・ＡⅡ	1～	1	8	7
	教養領域	外国語科目	英語ＢⅠ・ＢⅡ	3～	1		
			応用英語	1～	1		
			英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ	1～	1		
			英語以外の外国語基礎(特設)Ⅰ・Ⅱ	1～	1		
			英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ	3～	1		
		日本語科目	日本語Ⅰ～Ⅳ	1～	1		
		日本事情	日本事情Ⅰ～Ⅳ	1～	2		
		学術基礎科目	人文科学分野の科目	1～	2	2	
			社会科学分野の科目	1～	2	2	
			自然科学分野の科目	1～	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	3～	2	2	
			ワーキングスキル	3～	1又は2		
		健康・運動科目	スポーツ実習	2～	1		
		情報科目	情報リテラシー	1～	2		
	問題探求領域	問題探求科目		1～	2	2	
		自主学修プログラム		1～	1又は2		
		問題探求セミナー	問題探求セミナーⅠ	2	2	2	
	基盤教育　小計					27	7
専門教育	学類基礎領域	問題探究セミナー	問題探究セミナーⅡ	3	2	2	
	学類専門領域	コース専門科目		1～	1又は2		34
		学際・教養科目		1～	1～4		26
	卒業研究領域	卒業研究科目		6～	1又は4	8	
	専門教育　小計					10	60

自由選択領域	基盤教育・専門教育の各領域ごとに修得が定められた授業科目を超えて修得した科目(単位)				20
合　　計				37	87
				124	

(注)

1. 外国語コミュニケーション科目・外国語科目・日本語科目の中から、母語・母国語系統言語を除く 1 ヵ国言語で 8 単位修得する。
2. 「日本事情 I ～IV」は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。
3. 要卒単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

○福島大学行政政策学類規程（抜粋）

別表３（第８条第１項、第２１条第１号）

行政政策学類外国人留学生履修基準表

	領域区分	科目区分		履修セメスター	分類（※1）	科目単位	要卒単位（※4）	
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	必修	2	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	必修	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	必修	2	2	
			健康運動科学実習	1	必修	1	1	
		外国語コミュニケーション科目	英語AⅠ・AⅡ	1～	選択必修・自由	1	8（※2）	7
	教養領域	外国語科目	英語BⅠ・BⅡ	3～		1		
			応用英語	1～		1		
			英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ	1～		1		
			英語以外の外国語基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ	1～		1		
			英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ	3～		1		
		日本語科目	日本語Ⅰ～Ⅳ　（※3）	1～		1		
		日本事情	日本事情Ⅰ～Ⅳ	1～	選択必修・自由	2		
		学術基礎科目	人文科学分野の科目	1～	選択必修・自由	2	2	
			社会科学分野の科目	1～	選択必修・自由	2	2	
			自然科学分野の科目	1～	選択必修・自由	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	3～	選択必修・自由	2	2	
			ワーキングスキル	3～	選択必修・自由	1または2		
		健康・運動科目	スポーツ実習	2～	選択必修・自由	1		
		情報科目	情報リテラシー	1～	選択必修・自由	2		

	問題探究領域	問題探究科目		1～	選択必修・自由	2	2
		自主学修プログラム		1～	選択必修・自由	1または2	
		問題探究セミナー	問題探究セミナーⅠ	2	必修	2	2
		（小計）					34
専門教育	専門領域	学類専門科目	学類共通科目	1～	選択必修・自由	2	8
			学類基礎科目	3～	選択必修・自由	2	24
			コース専門科目	3～	選択必修・自由	2	24
		演習、卒業研究	問題探究セミナーⅡ・Ⅲ	3・4	必修	2	4
			演習Ⅰ～Ⅳ	5・6・7・8	必修	2	8
			卒業研究	8	必修	4	4
		（小計）					72
自由選択	自由選択領域						18
総計							124

（注）

※１「必修」とは、その科目を必ず修得しなければならないことを示す。

「選択必修」とは､指定された複数の科目のうちのいずれかを選択して修得しなければならないことを示す。

「選択必修・自由」とは、「選択必修」の要卒単位数を超える分について、自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

「自由」とは、自由選択領域科目として要卒単位にカウントすることができることを示す。

※２　外国語コミュニケーション科目・外国語科目・日本語科目の中から母語・母国語系言語を除く１ヶ国語で８単位、学術基礎科目各分野２単位計６単位、キャリア設計科目２単位、問題探究科目２単位、計１８単位を修得した上で、更に「接続領域」の外国語コミュニケーション科目、「教養領域」の全科目、及び「問題探究領域」の問題探究科目、自主学修プログラムから７単位を修得する。

※３　「日本語Ⅰ～Ⅳ」は、選択必修または自由選択として単位に計上することができる。

※４　基盤教育の必修単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

○福島大学経済経営学類規程（抜粋）

別表２（第８条第１項、第２１条第１号）

外国人留学生の履修基準

領域区分		科目区分	開設科目等	履修開始セメスター	1科目単位数	分類（注1―4）	要卒単位	
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	2	必修	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	2		2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	2		2	
			健康運動科学実習	1	1		1	
		外国語コミュニケーション科目	英語AⅠ・AⅡ	1	1	必修	8（注6）	7（注5）
	教養領域	外国語科目	英語BⅠ・BⅡ	3	1			
			応用英語	1	1			
			英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ	1	1			
			英語以外の外国語基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ	1	1			
			英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ	3	1			
		日本語科目	日本語Ⅰ～Ⅳ	1	1			
		日本事情	日本事情Ⅰ～Ⅳ（注7）	1	2	選必		
		学術基礎科目	人文科学分野の科目	1	2	必修	2	
			社会科学分野の科目	1	2		2	
			自然科学分野の科目	1	2		2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	5	2	選必	2	
			ワーキングスキル	3	1または2			
		健康・運動科目	スポーツ実習	2	1	自由		
		情報科目	情報リテラシー	1	2	選必		
	問題探究領域	問題探究科目		1	2	選必	2	
		自主学修プログラム		1	1または2	自由		
		問題探究セミナー	問題探究セミナーⅠ	2	2	必修	2	
	（合計）						34	

専門教育	専門領域	学類基礎科目	リテラシーA	1	2	必修	14
			リテラシーB	2	2	選必※	14
		問題探究科目	問題探究セミナーⅡ（注8）	3	2	選必※	2
		コース専門科目	コース専門科目群	1	2	選必	32
			専門演習	4～6	2	選必※	6
			AL科目群（注9）	3	2		
			卒業研究演習Ⅰ	7	2		
			卒業研究演習Ⅱ	8	2	必修	2
			特殊講義	1	2	自由	
		卒業研究	卒業研究	8	4	必修	4
		（合計）					74
自由選択		自由選択科目		1	1または2		16
全体		（総計）					124

（注）

1　「選必」は同じ科目区分内で選択必修として、「自由」は自由選択として要卒単位に計上できます。

2　「必修」は、必修の要卒単位を超えて修得した単位を自由選択に計上できます。

3　「選必」は、同じ科目区分内で選択必修の要卒単位を超えて修得したものを自由選択に計上できます。

4　「選必※」は、選択必修の要卒単位を超えて修得したものをコース専門科目として計上できます。

　　なお、コース専門の必要単位を満たしている場合は、自由選択に計上できます。

5　教養領域と問題探究領域科目については、各区分の要卒単位を満たした上、更に７単位を履修する必要があります。

　なお、要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択の単位として計上できます。

6　外国語コミュニケーション科目・外国語科目・日本語科目の中から母語・母国語系統言語を除く１カ国語で８単位を修得する必要があります。なお、要卒単位（８単位）を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択に計上できます。

7　「日本事情Ⅰ～Ⅳ」は、選択必修または自由選択として単位に計上できます。

8　留学生は問題探究セミナーIIが「選必※」になります。

9　AL（アクティブラーニング）科目とは、「卒研のための統計分析」「コーオプ演習」「海外調査」グローバル演習（「WEAⅠ・Ⅱ」「JSPⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」）「ドイツ語実践演習Ⅰ・Ⅱ」「ロシア語実践演習Ⅰ・Ⅱ」「特別演習」を指します。

○福島大学共生システム理工学類規程（抜粋）

別表３

共生システム理工学類　履修基準表（外国人留学生）

	領域区分	科目区分	開設科目等	履修年次	セメスター	1科目単位数	卒業要件	
							必修	選必
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	1	2	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	1	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	1	2	2	
			健康運動科学実習	1	1	1	1	
		外国語コミュニケーション科目	英語AⅠ・AⅡ	1～	1～	1	8	7
	教養領域	外国語科目	英語BⅠ・BⅡ	2～	3～	1		
			応用英語	1～	1～	1		
			英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ	1～	1～	1		
			英語以外の外国語基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ	1～	1～	1		
			英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ	2～	3～	1		
		日本語科目	日本語Ⅰ～Ⅳ	1～	1～	1		
		日本事情	日本事情（Ⅰ～Ⅳ）	1～	1～	2		
		学術基礎科目	人文科学分野の科目	1～	1～	2	2	
			社会科学分野の科目	1～	1～	2	2	
			自然科学分野の科目	1～	1～	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	2～	3～	2	2	
			ワーキングスキル	2～	3～	1又は2		
		健康・運動科目	スポーツ実習	1～	2～	1		
		情報科目	情報リテラシー	1～	1～	2		
	問題探究領域	問題探究科目		1～	1～	2	2	
		自主学修プログラム		1～	1～	1又は2		
		問題探究セミナー	問題探究セミナーI	1	2	2	2	
	小計						34	
専	学類共通	学類共通科目	共生の科学Ⅰ	1	1	2	2	

門教育	領域	接続領域科目	接続数学・接続理科	1	1	2	4	
		学類基礎科目		1～	1～	2	4	10
		学類専門科目	共生の科学Ⅱ	3	5	2	2	
	コース領域	コース基礎科目		2～	3～	2	12又は8（注1）	
		コース専門科目　（注2）		2～	3～	2		28又は32（注3）
		コース実践科目	問題探究セミナーⅡを含む（注4、注5）	2～	3～	1又は2	6又は2（注6）	4又は8（注7）
	演習	演習	演習Ⅰ・演習Ⅱ	3、4	6、7	2	4	
	卒業研究	卒業研究	卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ	4	7、8	2	4	
	小計						80	
自由選択	自由選択領域　（注8）						10	
全体	総計						124	

※　「選必」とは選択必修を示す。

※　外国語コミュニケーション科目・外国語科目・日本語科目の中から母語・母国語系統言語を除く１カ国語で８単位を修得する。

※　「日本事情Ⅰ～Ⅳ」は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

※　基盤教育において、卒業要件単位を超えて修得した単位は、選択必修または自由選択の単位として計上することができる。

（注１）情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースは、コース基礎科目を１２単位修得しなければならない。環境システムコースは、コース基礎科目を８単位修得しなければならない。

（注２）各コースで示されたコース専門科目のうち、指定の科目群から１２単位以上修得しなければならない。

（注３）情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースでは、コース専門科目を２８単位以上修得しなければならない。環境システムコースでは、コース専門科目を３２単位以上修得しなければならない。

（注４）問題探究セミナーⅡは、４セメスターにて各コースのコース実践科目（必修）の科目として開講される。

（注５）環境システムコースは、コース実践科目（選択必修）のうち、指定の科目群から４単位以上修得しなけ

ればならない。

（注６）情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースは、コース実践科目（必修）を６単位修得しなければならない。環境システムコースは、コース実践科目（必修）を２単位修得しなければならない。

（注７）　情報理工学コース、メカトロニクスコース及び分子デザイン科学コースは、コース実践科目（選択必修）を４単位以上修得しなければならない。環境システムコースは、コース実践科目（選択必修）を８単位以上修得しなければならない。

（注８）専門教育において、学類共通領域において卒業要件を超過して修得した単位、所属しているコースのコース領域の各科目区分において選択必修の卒業要件を超過して修得した単位及び所属しているコース以外のコースのコース領域科目の各科目区分において修得した単位は、自由選択に計上することができる。

○福島大学食農学類規程（抜粋）

別表２

食農学類履修基準表（外国人留学生用）

	領域区分	科目区分		セメスター	1科目単位数	要卒単位数	
						必修	選択必修
基盤教育	接続領域	スタートアップ科目	スタートアップセミナー	1	2	2	
			社会とデータ科学の基礎	1	2	2	
		ライフマネジメント科目	キャリア形成論	1	2	2	
			健康運動科学実習	1	1	1	
		外国語コミュニケーション科目	英語AⅠ・AⅡ	1～	1	8（注1）	7（注1）
	教養領域	外国語科目	英語BⅠ・BⅡ	3～	1		
			応用英語	1～	1		
			英語以外の外国語基礎Ⅰ・Ⅱ（注1）	1～	1		
			英語以外の外国語基礎（特設）Ⅰ・Ⅱ（注1）	1～	1		
			英語以外の外国語応用Ⅰ・Ⅱ（注1）	3～	1		
		日本語科目	日本語Ⅰ～Ⅳ	1～	1		
		日本事情	日本事情Ⅰ～Ⅳ	1～	2		
		学術基礎科目	人文科学分野の科目	1～	2	2	
			社会科学分野の科目	1～	2	2	
			自然科学分野の科目	1～	2	2	
		キャリア設計科目	キャリアモデル学習	3～	2	2	
			ワーキングスキル	3～	1または2		

		健康・運動科目	スポーツ実習	2～	1			
		情報科目	情報リテラシー	1～	2			
	問題探究領域	問題探究科目		1～	2	2		
		自主学修プログラム		1～	1または2			
		問題探究セミナー	農場基礎実習Ⅱ	2	2	2		
	小計					34		
専門教育	専門領域	学類共通専門基礎科目	数理リテラシー	1～		4	4	7（注2）
			農学リテラシー	1～		14	14	
		学類共通専門科目		4～		4		
		コース専門科目		4～		28		
		（食品科学・農業生産学コース）				(4)	(24)	
		（生産環境学・農業経営学コース）				(8)	(20)	
		卒業研究科目		6～		9		
	小計					84		
	自由選択領域	自由選択科目（注3）				6		
計						124		

（注１）　外国語コミュニケーション科目、外国語科目、日本語科目の中から母語・母国語系統言語を除く１ヶ国語で８単位、学術基礎科目各分野２単位計６単位、キャリアモデル学習２単位、問題探究科目２単位、計１８単位を修得した上で、さらに「接続領域」の外国語コミュニケーション科目、「教養領域」の全科目、「問題探究領域」の問題探究科目、自主学修プログラムから７単位を修得する。

（注２）７単位については、所属するコース以外のコース専門科目を含めることができる。

（注３）要卒単位を超えて修得した単位は、自由選択科目に含めることができる。